

## 1. システムへの入り方

この章では、授業支援システム(Open LMS)へのアクセス方法から、コース(科目)の構成について紹介します。

### 1.1 アクセス方法～ログイン

以下の URL から「授業支援システム(OpenLMS)」へアクセスしてください。

<https://tlms.tsc.u-tokai.ac.jp/>

ログインの手順は以下のようになります。

- 「ログイン」をクリックします。(①)
- ログイン画面で、ユーザ名とパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックします。(②)



#### 《Open LMS でサポートされているブラウザ》

※モバイルアプリの場合、一部機能が利用できません。

Web ブラウザ (Edge・Google Chrome 等) でご利用いただくことを推奨いたします。

【Desktop】 Google Chrome、Firefox、Safari、Microsoft Edge

【Mobile】 Mobile Safari、Google Chrome

### 1.2 マイコース画面

ログインが完了すると、ホーム画面が表示されます。

Open LMS では授業科目に相当するものを「コース」と呼びます。マイコースには、あなたが今期担当している全ての授業科目(コース)が表示されます。

#### 【コース表示について】

過去のコースや年度ごとのコース表示についてはマニュアル(リファレンス)「13.コース表示」をご参照ください。

「マイコース」をクリックし(①)マイコース画面に移動すると、コース概要が表示されます。この表示方法は変更が可能です。



### 1.3 コースの選択

授業を実施したり、授業用のコンテンツを登録したりするには、「マイコース」から各コース(授業科目)をクリックします。



コンテンツを登録するコースを選択します。

### 1.4 コースとトピックの構成

各「コース」の中に、複数の「トピック(トピックセクション、セクション)」を作ることにより、コンテンツを整理することができます。初期値として、各授業回を1トピックとした、15 回分のトピック(トピック1～トピック15)を用意しています。コースの先頭領域には授業全般に関する説明や資料を、各トピックには各回の授業コンテンツを配置することを想定しています。

→ 2. コースページの編集

なお、トピックは授業の各回や、授業内容のカテゴリ分けとしてお使いになることもできますので、その際はトピックの名称を適宜変更してください。トピックの追加や削除も可能です。

→ 4. セクションの新規作成

メニューの ON/OFF 切り替え

コースの先頭領域には、授業全般に関する説明や資料を置きます。例: シラバス・全体アナウンスなど

各トピックに各回の授業コンテンツを配置します。初期値では 15 回分のトピックを作成してあります。

基礎制御理論

コース 設定 参加者 評定 レポート さらに▼ Open LMS ▼

授業概要

フィードバック制御の技術は電気制御器・制御器・制御装置などの製造電気機器、ロボット・コンピュータ周辺機器などのメカトロニクス機器、自動車生産ライン設備などの生産機械、LPG・ガソリン・ジェット燃料・灯油など石油製品生産のプロセス工業、および人工衛星の姿勢制御などきわめて多くの分野で適用されている。これら複雑かつ多様なシステムを合理的に設計・管理するためにはフィードバック制御の数学的理論、すなわち制御理論が不可欠である。制御理論には従来から広く適用されている周波数領域での古典制御理論と精密かつ高度な制御に適用される時間領域での現代制御理論とがある。本講義では、古典制御理論を中心に、ラプラス変換、制御系の構成要素を表現するブロック構成、過渡応答のためのステップ応答とインパルス応答、周波数応答を表現するためのボード線図とナイキスト線図、フィードバック制御系の安定判別法をとりあげる。

講義と演習を通して、古典制御理論における基本的な周波数領域での解析法や時間領域との対応などを学びながら、フィードバック制御系の基本的な解析力を養成することを目標とする。

フォーラム  
ソーシャルフォーラム

第1回

制御とは、システムの数学モデル：微分方程式によるモデルの表現

ファイル3 小テスト1 URL4 ページ1 出欠1 アンケート1 課題1  
進捗: 0 / 12

第2回

## 1.5 コースの参加者とロール、学生からの見え方を確認する(ロールの切り替え)

各コースにアクセスできる利用者(授業担当教員や履修学生)を、コースの「参加者」と呼びます。各参加者には、「教員」「学生」など、コース内での役割(できること)が設定されています。これを「ロール」と呼びます。各コースの初期設定では、授業担当教員を「教員」ロール、履修登録した学生を「学生」ロールとして参加者登録がなされていますので、特段、参加者を編集する必要はありません。

なお、コースやコース上に作成したコンテンツが、学生からどのように見えるのかを確認する場合は、一時的に「ロール」の変更を行います。以下に、あるトピックに設定した「課題」が、学生にはどのように見えるのかを確認する例を示します。

### 【教員として表示した場合】

教員として「課題」を表示しています。

課題 第01回課題

課題 設定 高度な評定 さらに▼

提出する

開始: 2020年 10月 14日(水曜日) 00:00  
期限: 2020年 10月 15日(木曜日) 00:00

すべての提出を表示する 評点

評定概要

学生から秘匿	No
参加者	5
提出	0
要評定	0
残り時間	課題の提出期限が到来しました。

### 【ロールを学生に変更する手順】

ページ右上の名前の部分をクリックすると、メニューが表示されます。(①)  
表示されたメニューから「ロールを切り替える」を選択します。(②)

①

ページ右上の名前の部分を  
をクリックするとメニューが  
表示されます。

②

メニューから「ロールを切り  
替える」を選択します。

Miscellaneous / 基礎制御理論(1080123456) / 第1回 / 第01回課題

課題 第01回課題

課題 設定 高度な評定 さらに▼

提出する

開始: 2020年 10月 14日(水曜日) 00:00  
期限: 2020年 10月 15日(木曜日) 00:00

すべての提出を表示する 評点

評定概要

学生から秘匿	No
参加者	5
提出	0

東教

- プロフィール
- 評定
- カレンダー
- メッセージ
- プライベートファイル
- レポート
- プリファレンス
- 言語設定
- ロールを切り替える...
- ログアウト

ロールの一覧から「Student」を選択します。

**基礎制御理論**

コース 設定 参加者 評定 レポート さらに▼ Open LMS▼

### ロールを切り替える ...

ロールのユーザにコースがどのように見えるのか確認するため、ロールを選択してください。

この表示は完璧なものではないことに留意してください(詳細および代替手段はこちらをご覧ください)。

Student  
キャンセル

ロールから「Student」を選択します。

学生が「課題」を表示した際に、どのように見えるかがわかります。

Student

Miscellaneous / 基礎制御理論 / 第1回 / 第01回課題

課題  
**第01回課題**

やるべきこと: 提出する

開始: 2020年 10月 14日(水曜日) 00:00  
期限: 2020年 10月 15日(木曜日) 00:00

提出物をアップロード・入力する

### 提出ステータス

提出ステータス	まだ提出されていません。
評定ステータス	未評定
残り時間	課題は次の時間を超過しています: 2年 87日
最終更新日時	-

学生として「課題」を表示しています。

教員のロールに戻る場合は、名前の部分をクリックし(①)、メニューから「通常ロールに戻る」を選択します(②)。

Student 東教 ▼ ①

- プロフィール
- 評定
- カレンダー
- メッセージ
- プライベートファイル
- レポート
- プリファレンス
- 通常ロールに戻る ②
- 言語設定 ▶
- ログアウト